

令和7年度（2025年度） 南相馬市立原町第一中学校 学校経営ビジョン

学校経営の方針

- 1 生徒の確かな学力の向上
- 2 生徒の豊かでたくましい心の育成
- 3 生徒の健康で丈夫な体づくり
- 4 教師の指導力の向上
- 5 家庭や地域との連携を深める開かれた学校の実現

生徒の実態

- 受け継がれるよき伝統と校風
- 落ち着きのある生活態度
- 集団行動がきちんとできる
- 主体的に学び続ける
- 自分自身を大切にする

教育課題

- 1 本当にわかる授業の実践、学び方の取得と  
きめ細かな指導による確かな学力の定着
- 2 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、  
表現力の育成とウェルビーイングの向上
- 3 自己マネジメント力の育成
- 4 諸問題に対する教職員の組織的対応
- 5 保護者や地域、関係機関との連携



教育目標

創造 新しい世界を切り拓く生徒

自律 自ら考え判断し行動できる生徒

共生 心豊かに共に生きる生徒

令和7年度 重点目標  
「 互いを認め合い ともに輝く生徒 」

キャッチフレーズ 『ひとみ輝く』

- 令和7年度 目指す学校像
- 1 主体的・対話的で深い学びを実現する学校
    - 主体的に学び始める課題を設定し、協働的な学びを基盤とした深い学びを推進する。
    - 見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く教育活動を実践する。
  - 2 豊かな人間性・社会性を育成する学校
    - 相手の考えに共感したり、自己を表出したりできる授業や特別活動を実践する。
    - あこがれに向かって、自己の感情や行動を統制できる自己マネジメント力を育成する。
  - 3 保護者、地域から愛され支えられる学校、地域に貢献する学校
    - 学校と保護者、地域との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
    - 地域に守られて成長してだけでなく、中学生ができる地域貢献を推進する。



確かな学力

- 主体的・対話的で深い学びの実践
- ・未知の状況にも対応できる学び方や考え方の育成
- ・主体的に学び始める課題の設定
- ・対話によるコミュニケーションを基盤とした協働的な学びの実践
- ・学習の振り返りと学んだことを適応する時間の確保
- ・ICTを活用した個別最適な学びの実践
- 家庭学習の習慣化
- ・「学力向上へのちかみち」の実践と評価
- ・生活ノート等を活用した計画的な取組、および、授業と連動させた家庭学習の実施

豊かな人間性

- 互いに助け合い、高め合える関係を構築することができる生徒
- ・支え合い、ケアし合える関係の構築
- ・交流を通じたコミュニケーション能力の育成
- 特別活動の充実
- ・生徒の主体性の重視とリーダーの育成
- ・協働的な学びを踏まえた「協働的な活動」の実践
- ・生徒会活動の活性化
- 道徳教育の充実
- ・「考え、議論する道徳」の実践
- ・自他を思いやる生徒の育成（いじめの絶無）
- ・自分の夢と命を大切にす生徒の育成
- 南相馬ふるさと教育：至誠学（まごころ学）の充実

健やかな体

- 規範意識を持ち、他者を意識して健康で安全な生活を送る生徒
- ・生活リズムの定着化
- ・外部講師による生命尊重の講話等の実施
- ・食に関する指導、性に関する指導の充実
- ・食育や生活習慣についての個別指導
- 体力の向上
- ・保健体育授業での筋力、持久力、調整力の向上
- ・運動部活動でのきめ細かな指導
- 安全教育の充実
- ・放射線教育・防災防犯教育の推進
- ・交通教室・防災訓練の実施

教師の指導力

- 学びの質を高める研修の充実
- ・「南相馬の授業スタイル」の積極的導入
- ・主体的に学び始める課題設定の在り方の工夫
- ・協働的な学びを基盤とした「本当にわかる授業」の構築
- ・互いの良さを認め仲間と支え合う関係を育てる授業の構築
- ・互見授業の充実
- ・校外研修の積極的な参加と共有化
- 生徒指導・健康・安全教育の充実
- ・いじめ、不登校、問題行動の未然防止・早期発見及び適切な対応
- インクルーシブ教育の推進

家庭との連携

- 保護者との連携
- ・各種たより等の発行
- ・ホームページの内容充実と定期的な更新
- ・PTA活動への職員の積極的な参加
- 各種機関等との連携
- ・不登校や不適応生徒の適応指導教室等への働きかけ
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの積極的な活用と協働
- 不登校生徒への対応
- ・連続して欠席した生徒の家庭訪問
- ・保護者との連携
- 地域貢献活動
- ・生徒会活動、総合的な学習の時間などを活用したボランティア活動の実施